

1 ねらい

現在、新型コロナウイルスの感染者が増大するなかでは、様々な制限があり、苦労や不安もあるなかでの生活となっています。これは、我々教員にとっても児童生徒・保護者にとっても大きなストレスにもなっています。そして、新型コロナへの不安や、陽性者・濃厚接触者等となることで、学校に来て授業を受けられない児童生徒も出てきています。また、学級閉鎖や学年閉鎖、さらには学校閉鎖という事態も懸念されます。そんななか、感染や孤独、学習への不安を解消するための手段の一つとして、オンライン授業を考えています。蒲郡市でのオンライン授業とは、「Microsoft Teams」を利用して、学校（教員）と家庭（児童生徒）をつなぎ、顔を向き合わせて授業を行うことを原則としています（学校や児童生徒の状況ではその限りではない）。オンラインでつながることで、少しでも蒲郡の児童生徒の不安が減り、笑顔になれるよう考えています。

2 「Microsoft Teams」を使うにあたり必要な機器の準備及び設定など、学校ごとで確認します。

- (1) 教員が使用するタブレットはどれを使うのか決めておく。足りない場合は、各学校のパソコン室のタブレットでも使用できる。その際は、「Microsoft Teams」をインストールし、使用する際には、現在学校で使用している AZURE のアカウント」でログインする。
- (2) 各学級のチームに教科担任を登録しておけば、教科担任のアカウントでどのタブレットでも授業することが可能。
- (3) 児童生徒のタブレットは、すぐに「Microsoft Teams」が使用できるように、一度チーム作成後に学校で起動・練習しておく。（家庭での使用時に最初の説明やチュートリアルが表示されないようにするため）
- (4) オンライン授業では、本年度は教科書や資料集などを画面に映したり、英語などで補助教材のCDを流したりすることはできません。（本年度は、授業目的公衆送信補償金制度に加入していないため）
- (5) 「Microsoft Teams」の機能にある「担任が学級で作成したチーム内で、チャットや子どもだけのオンライン会議を行うこと」「既存のチーム内でオンライン会議をしている最中に、子どもが他のメンバーを外してしまうこと」「既存のチーム内で、メンバーの子どもがそのチームのメンバーを追加できること」については停止する。
- (6) オンライン授業の時は、画像・動画が外部に漏れ個人情報の保護の観点か

ら、教員も児童生徒もマスクを付けて行う。

- (7) 家庭では、背景が見えないように変えておくとよい。簡易版でできない場合は、児童生徒に伝えておくこと。

3 オンライン授業の計画

(1) クラス全員がオンライン授業を受ける場合（短縮した午後や休業や閉鎖）

- ① 何をオンラインで行うのか、オンライン授業の試行、実際の授業など、目的を明確にする。
- ② タブレットの持ち帰りで次の点に気をつける。
 - ・充電は大丈夫か、電源アダプターも持ち帰えるのか決めておく。
 - ・7月に持ち帰っていない学年で今回持ち帰らせるならば、持ち帰った際に接続確認をし、接続できない場合は学校に報告させ、対応すること。
あわせて、Wi-Fi接続環境がない家庭には、モバイルルーターを貸し出す手配（市教委まで必要なモバイルルーター数を報告）をすること。

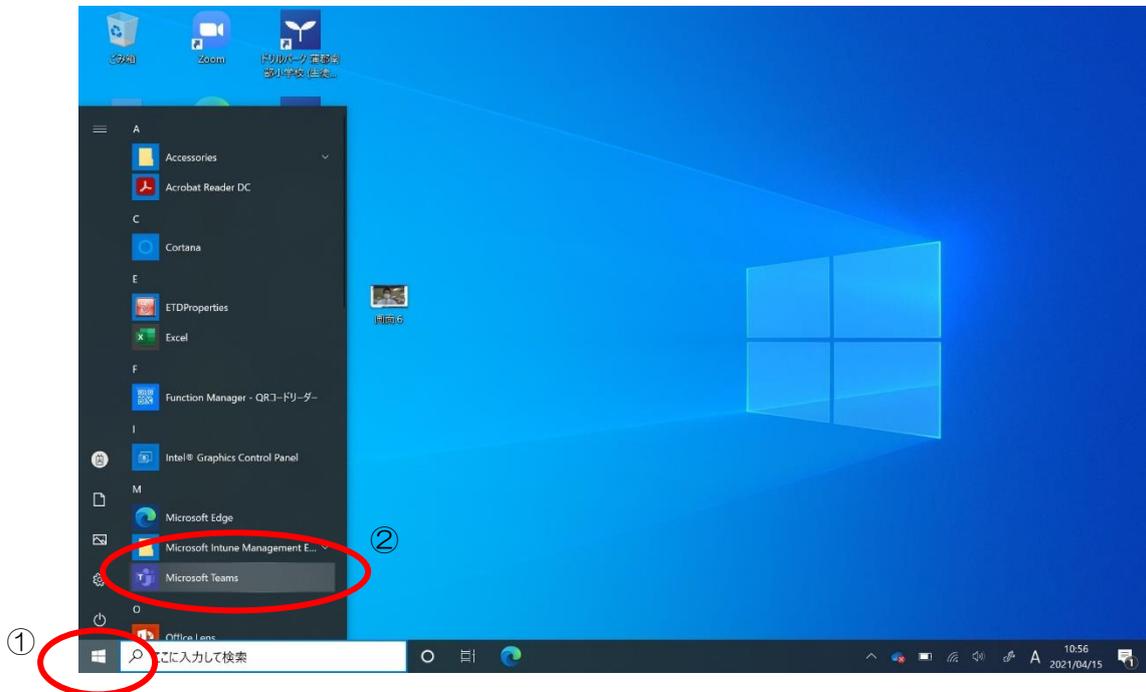
(2) クラス内の一部の児童生徒がオンライン授業を受ける場合（1）に加えて

- ① オンライン授業の対象は誰か。（陽性者・濃厚接触者・新型コロナが心配で欠席した児童生徒で希望する者など、ただし、陽性者等の特定につながる恐れもあるので、配慮が必要）
- ② タブレットをどうやって家庭に届けるのか。
日時を決め、家庭に連絡して担任が届ける。
- ③ オンラインの際に必要なプリントは何か。いつどうやって配付するか。
 - ・“担任が各家庭を回ってポストに入れる”か“「Microsoft Teams」でおり配付のようにオンラインで配付する”のどちらか。後者の場合、家庭で印刷ができない場合があり、メモ等書き込めない。
- ④ オンライン授業中に、教員が机間巡視できるように、Bluetooth ヘッドセットを数個は購入（アスクールで1個3,000円程度）しておく。ダイソーにも300円であるが…。
- ⑤ 黒板（板書）を映すのか、教員タブレットで資料を映すのかを事前に決めておく。併用する場合は授業しながらで多くの作業は難しいため、操作は少なく計画的に。

4 「Microsoft Teams」の基本的な使い方（児童生徒用）

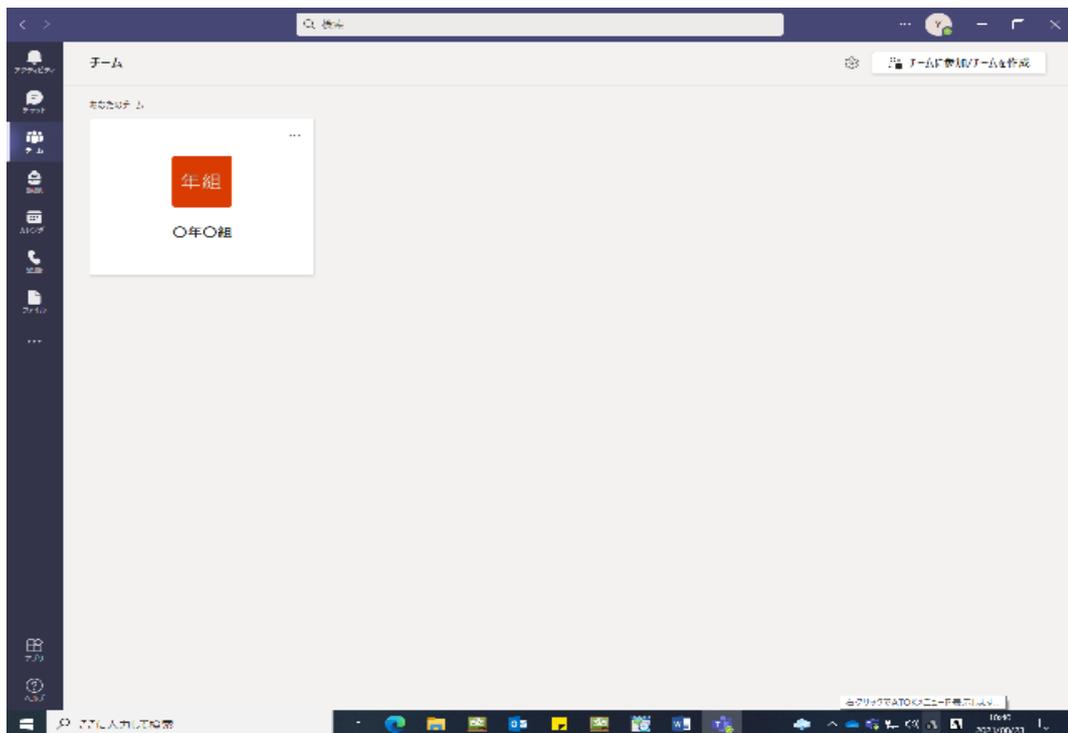
家庭で「Microsoft Teams」を利用する方法

(1) 「Windows ボタン」 → 「Microsoft Teams」を選ぶ。

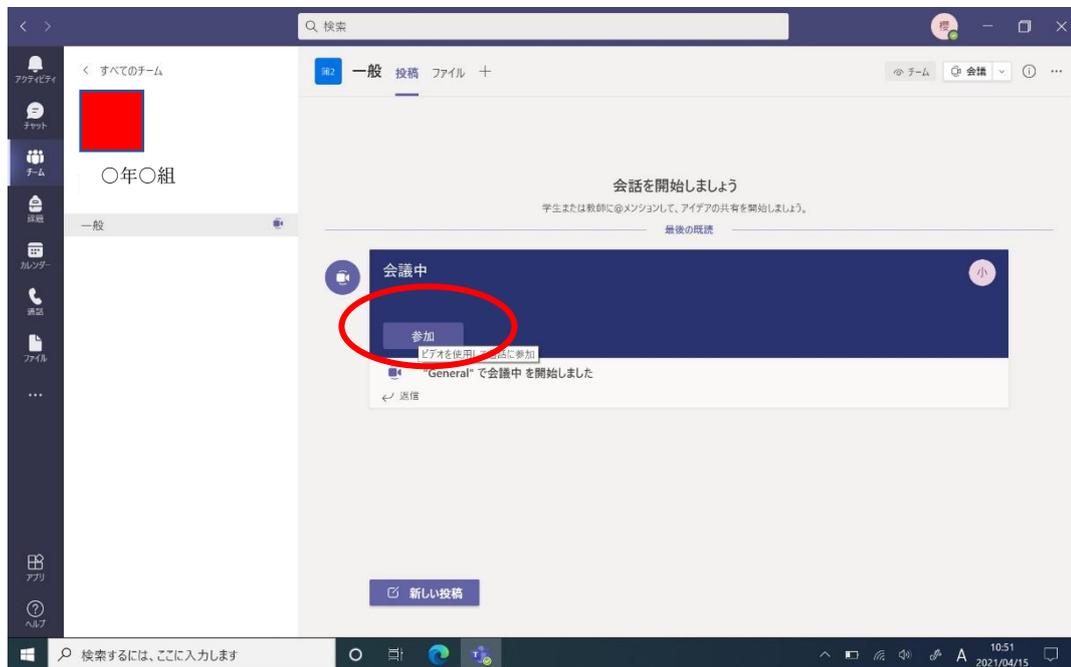


(2) チームの中から「〇年〇組」を選ぶ。

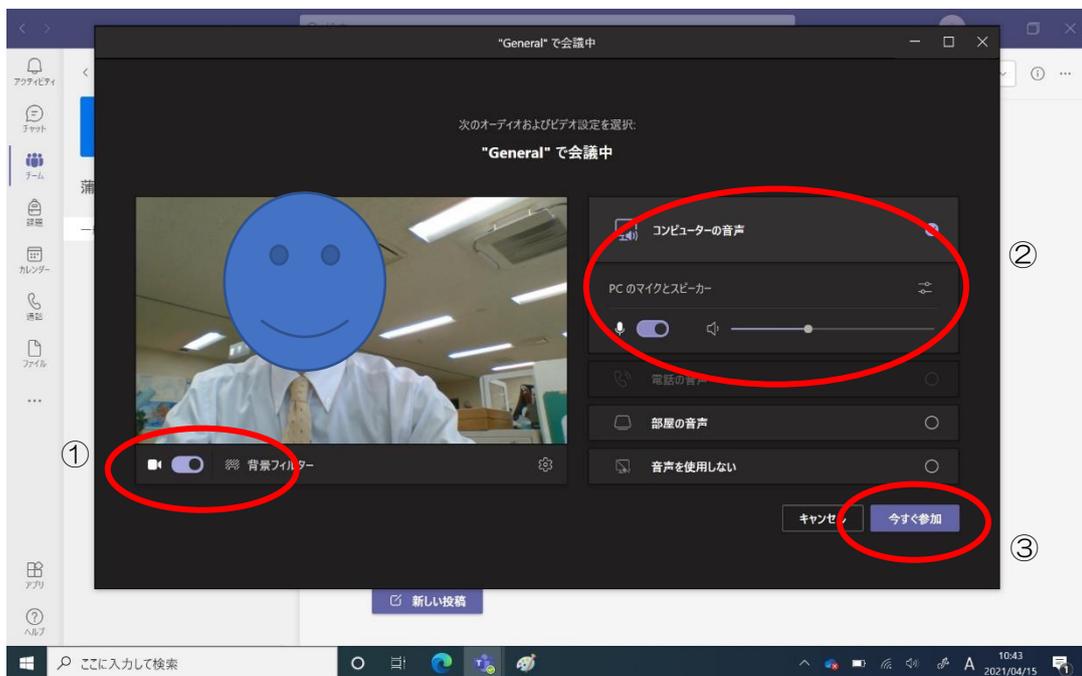
※選ばなくても、すでにチームに入っている場合もあり。



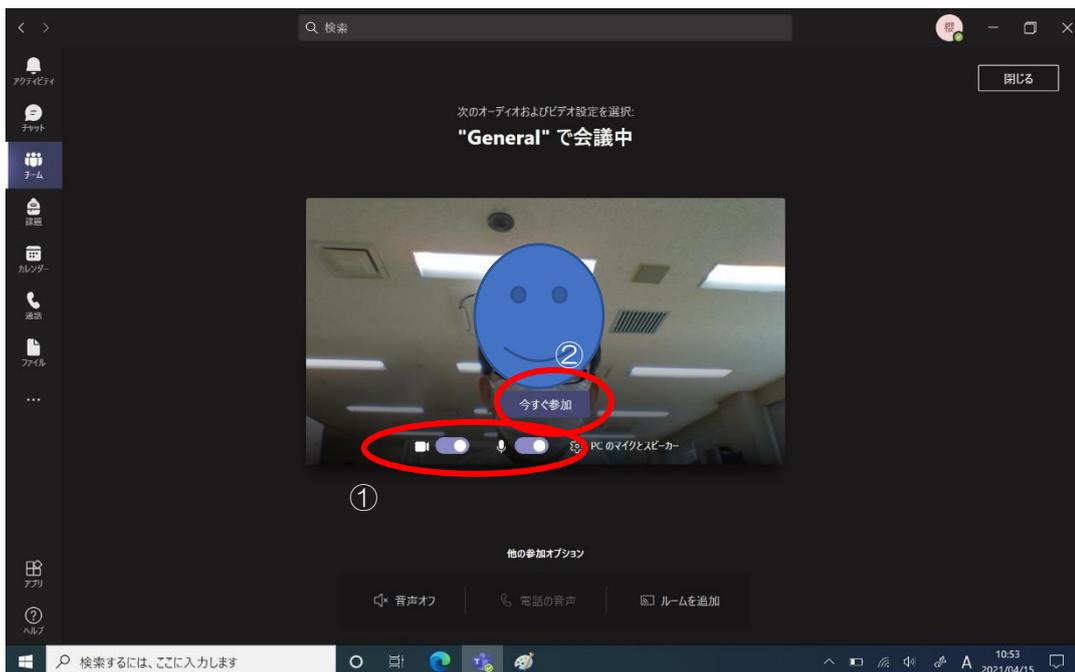
- (3) 先生が授業開始すると紫色の四角ができます。紫色の四角内、左下にある参加を選ぶ。



- (4) カメラとマイク（音声）の ON を確認して、今すぐ参加を選ぶ。
※ 練習のため、教室で一斉に行うときは、マイク（音声）は使用しない。



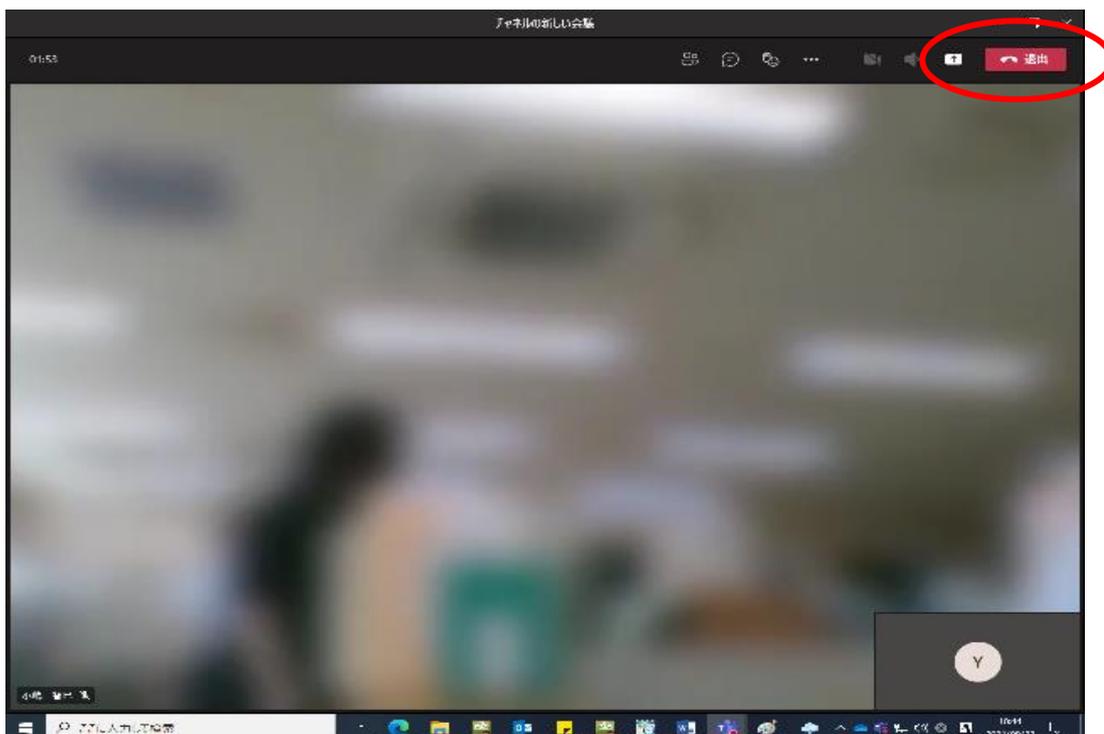
この画面とは違う表示の場合は、次のページのようになる。



カメラやマイクの横の  にして、 今すぐ参加 を選ぶ。

※ 練習のため、教室で一斉に行うときは、マイク（音声）は使用しない。

- (5) オンライン授業の終了時は、画面右上の赤い受話器のアイコンを選ぶ。赤い受話器が表示されていない場合は、画面中央をタップしてアイコンバーを表示させると、右端に表示されている。



5 学級・学年閉鎖や臨時休校等、学級全体でのオンライン授業の例

- ・ オンライン（Microsoft Teams）でできることはいくつかある。
朝夕の会、学習（「SKYMENU」「コラボノート」「ドリルパーク」など）、アンケート（健康観察）、お便り配付、など
- ・ 視力低下などの健康面も考え、1時間の授業を30分とした。休憩30分。

(1) 日程（例）

- 8：30 朝の会（健康観察等）－Teams
- 9：00～ 9：30 1時間目－Teams など
- 10：00～10：30 2時間目－Teams など
- 11：00～11：30 3時間目－Teams など
- 13：30～14：00 質問タイム－Teams・ドリルパーク・自主学习等
- 14：15 帰りの会（翌日連絡）－Teams

(2) オンライン授業の内容（例）

- ・ 10分 講義－Teams
- ・ 10～15分 練習問題
(SKYMENU、コラボノート、ドリルパーク)
- ・ 5～10分 発表やまとめ、次の授業確認

(3) その他

- ・ 「朝の会だけ」や「朝の会と1時間の授業だけ」ということも考えられる。

7 場面に応じた先生のチェックリスト

(1) 朝の会

- ・ 身なりは大丈夫ですか、笑顔になっていますか。
- ・ 言葉遣いは大丈夫ですか。
- ・ すべての児童生徒の顔を見られましたか。健康状態を把握できましたか。

(2) 授業中

- ・ ゆっくり、はっきりとした口調で話していますか。児童生徒にも、ゆっくり、はっきり話すよう指導しましょう。
- ・ 必要な情報が画面に出ていますか。逆に、出てはいけない情報が表示されていませんか。
- ・ 児童生徒からの意見や疑問を受け止められましたか。
(受け取る場面を設定しましょう。)

(3) 帰りの会

- ・ 明日（次回）の予定が伝わりましたか。
- ・ 笑顔で「さよなら」を言いましょう。